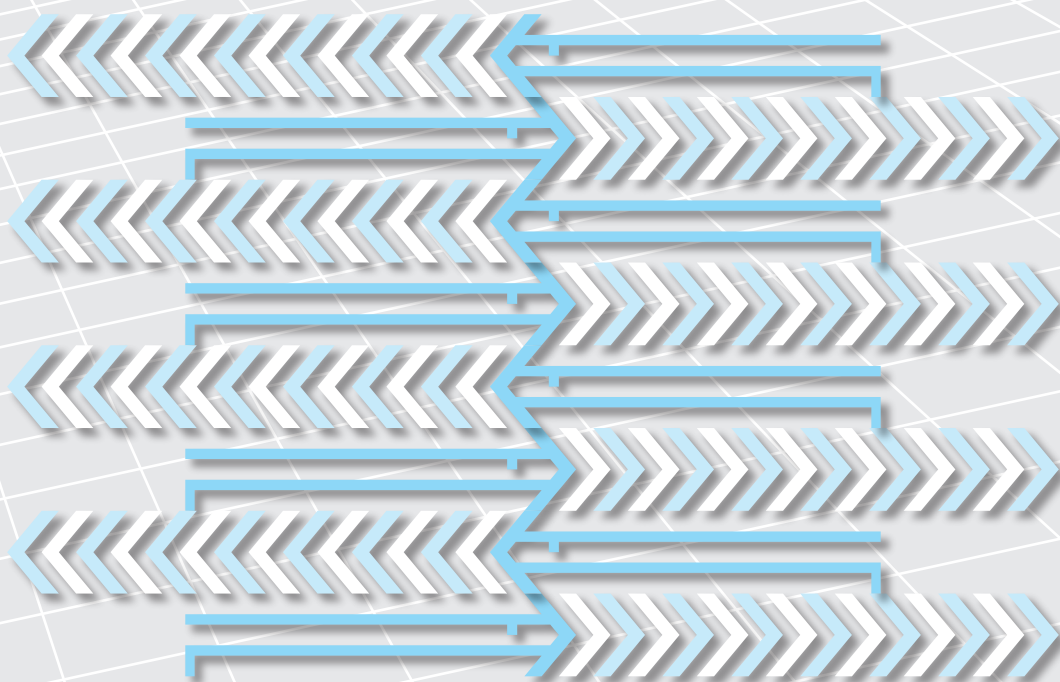


発展的な学習を推進するための指導資料

中学校編

社 会



平成24年3月
東京都教育委員会

はじめに

東京都教育庁指導部長 坂本和良

東京都教育委員会は、児童・生徒の確かな学力の定着と伸長を図ることを目的に、中学校では平成15年度から、小学校では平成16年度から「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施しています。これまでの調査結果から、東京都の児童・生徒の学力の定着状況は、習熟の程度の遅いグループの層から習熟の程度の早いグループの層にかけて、幅広く分布しているという傾向が見られ、そのことから、児童・生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導の充実を図ることが必要となっています。

東京都教育委員会では、児童・生徒一人一人の学習のつまずきを防ぐために、平成20年10月に国語科及び算数・数学科において、学習の素地として確実に身に付けさせる必要がある資質・能力とその段階的な指導を明らかにした「児童・生徒の学習のつまずきを防ぐ指導基準（東京ミニマム）」を作成し、説明会を実施してきました。

さらに、習熟の程度の早い児童・生徒に対する指導の充実を図るためには、教科用図書だけではなく、教材開発による応用・発展的な内容を提示したり、課題選択や課題学習を設定したりするなどの学習を広げ、深め、進める指導の工夫が求められます。

そこで、東京都教育委員会では、平成22年度に「発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会（小学校部会）」を設置し、学習指導要領の内容を十分に身に付けている児童に対して、学習指導要領の内容を一層広げ、深め、進める学習を行うための教材・指導方法の開発を行い、その成果として、「発展的な学習を推進するための指導資料 小学校編」を刊行しました。そして、本年度は、「発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会（中学校部会）」を設置し、本指導資料「発展的な学習を推進するための指導資料 中学校編」を刊行しました。

各学校におかれましては、これまでの取組に加えて、本指導資料を活用し、生徒の習熟の程度に応じた指導をより一層充実させていただくことをお願いいたします。

最後になりましたが、本指導資料の作成に当たり、御尽力いただいた皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

目 次

◇	はじめに	
◇	目 次	
I	「発展的な学習を推進するための指導資料」〈中学校編〉における基本的な考え方	
1	習熟の程度に応じた学習指導	4
2	発展的な学習の定義と育成したい資質・能力	4
3	「発展的な学習」の学習指導要領における位置付け・留意点について	5
4	発展的な学習における評価の基本的な考え方	6
5	本指導資料の活用について	7
II	社会科における発展的な学習の事例	
○	社会科における発展的な学習についての基本的な考え方	8
○	社会科において開発した発展的な学習を推進するための指導資料	8
1	私たちが行うならこんな農林水産業だ	10
2	中世の古戦場—新田義貞の戦いを通して—	16
3	文明開化を考える	26
4	社会のルールを学ぼう	36
◇	発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会（中学校）委員名簿	

I 「発展的な学習を推進するための指導資料」〈中学校編〉における基本的な考え方

1 習熟の程度に応じた学習指導

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都実施）の分析結果から、学力の定着状況が習熟の遅い層から習熟の早い層にかけて、広く分散している傾向を捉えることができ、より一層、基礎的・基本的な内容の確実な習得及び習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養っていく必要があることが明らかとなった。これらの資質・能力の育成には、個に応じた指導の充実が必要であり、中でも児童・生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導の充実が大切である。

まず、習熟の程度の遅いグループへの対応として、児童・生徒の日常の学校生活の実態を十分把握して、到達度目標を明確にするとともに、児童・生徒の興味・関心を喚起し、目標の達成に向けた段階的・系統的な指導が求められる。

東京都教育委員会では、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析結果から、東京都の児童・生徒が学習指導要領の国語科及び算数科・数学科の目標を達成し、内容を習得するに当たって、「学習の素地として確実に身に付けておく必要がある資質・能力」とその段階的な指導を明らかにした「児童・生徒の学習のつまずきを防ぐ指導基準（東京ミニマム）」を平成20年10月に作成・公表した。さらに、平成21年度には、新しい学習指導要領（平成20年3月告示）の内容及び平成20年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果、平成21年度の国の「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、指導事例に加えて「東京ミニマム」の改訂を行い、説明会を開催した。

次に、習熟の程度の早いグループへの対応として、教科用図書だけではなく、教材開発による応用・発展的な内容を提示したり、課題選択や課題学習を設定したりするなどの指導の工夫が求められる。

東京都教育委員会では、習熟の程度の早い児童・生徒への指導の支援として、平成22年度に「発展的な学習を推進するための教材・指導法委員会（小学校）」を設置し、発展的な学習を推進するための教材・指導方法の開発を行い、その成果として、「発展的な学習を推進するための指導資料 小学校編」を刊行した。

平成23年度においては、「発展的な学習を推進するための教材・指導法委員会（中学校）」を設置し、発展的な学習を推進するための教材・指導方法の開発を行い、本指導資料を刊行したところである。

2 発展的な学習の定義と育成したい資質・能力

学習指導要領に示す内容を十分に身に付けている児童・生徒に対しては、個に応じた指導の充実を図る観点から、児童・生徒の能力・適性、興味・関心等に応じて、さらに学習を広げたり、深めたり、進めたりすることが求められる。

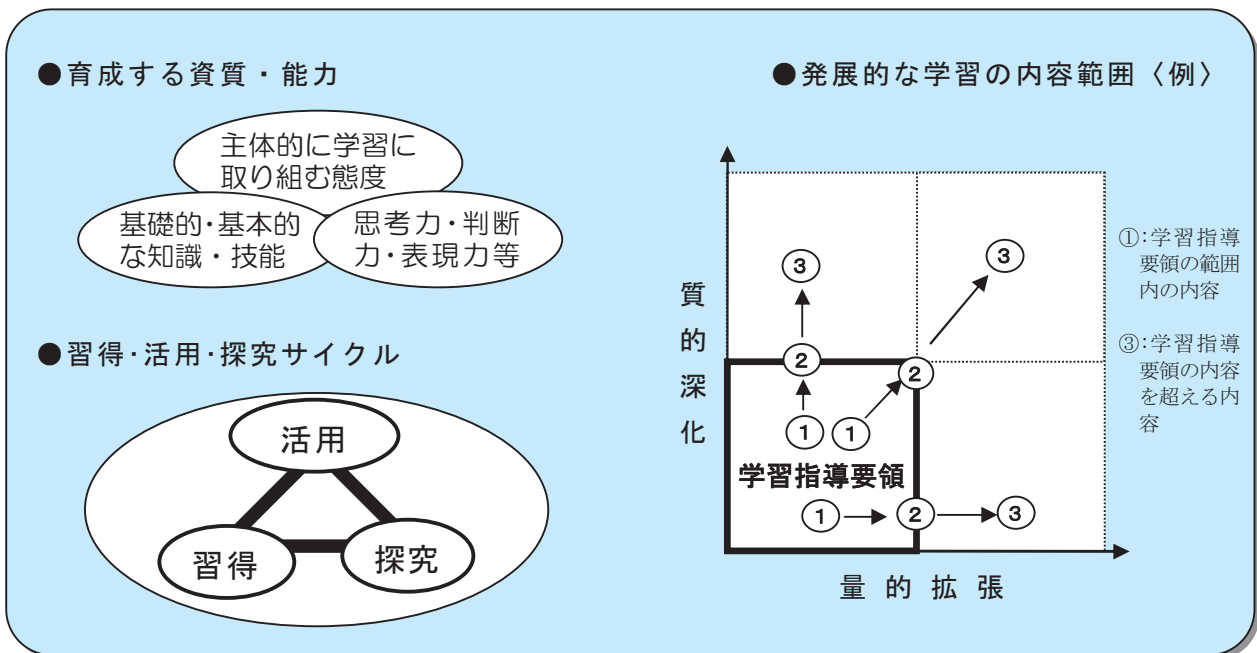
東京都教育委員会では、発展的な学習について、「学習指導要領に示された内容の理解を一層深める学習や広げる学習、さらに進んだ内容についての学習」と定義した。この定義により、発展的な学習を次の二点から設定した。

第一点は、学習指導要領の内容をさらに深めたり、広げたりする学習である。

第二点は、学習指導要領の内容をさらに進める（超える）学習である。

また、「習得」・「活用」・「探究」を学習活動で捉えるならば、発展的な学習は、課題を解決するために習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育成する「活用」・「探究」の学習活動が中心となる。ただし、「習得」・「活用」・「探究」は、「探究」から「活用」に進んだり、「活用」から「習得」に進んだりすることもある。

このように、これらの発展的な学習を通して、基礎的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等をより一層育み、主体的に学習に取り組む態度を養っていくことが大切である。



3 「発展的な学習」の学習指導要領における位置付け・留意点について

東京都教育委員会では、学習指導要領に示す目標及び内容を十分に身に付けている児童・生徒に対しては、個に応じた指導の充実を図る観点から、児童・生徒の能力・適性、興味・関心等に応じて、さらに学習を広げたり、深めたり進めたりするための発展的な学習が大切であると考えている。

文部科学省においても、平成14年1月17日、「確かな学力向上のための2002アピール『学びのすすめ』」において、「学習指導要領は最低基準であり、理解の進んでいる子どもは、発展的な学習で力をより伸ばす」と示している。このことを踏まえ、発展的な学習は、平成20年3月に告示された「中学校学習指導要領 総則」の「第2 内容等の取扱いに関する共通的事項」に、「2 学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。また、第2章以下に示す内容の取扱いのうち、内容の範囲や程度等を示す事項は、すべての生徒に対して指導する内容の範囲や程度等を示したものであ

り、学校において特に必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができる」と位置付けられている。

発展的な学習の留意点としては、「中学校学習指導要領 総則」の「第2 内容等の取扱いに関する共通の事項」において、「第2章以下に示す各教科、道徳及び特別活動並びに各学年、各分野又は各言語の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担過重となったりすることのないようにしなければならない」と示されており、生徒の学力の定着状況を学習の進行具合に即して把握する必要がある。

また、「第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」として、「1 各学校においては、次の事項に配慮しながら、学校の創意工夫を生かし、全体として、調和のとれた具体的な指導計画を作成するものとする。(1)各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」「2 以上のほか、次の事項に配慮するものとする」「(7) 各教科の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること」と示されており、学校をあげて組織的・計画的に年間指導計画を作成し、発展的な学習を推進していく必要がある。

4 発展的な学習における評価の基本的な考え方

発展的な学習においては、個性の一層の伸長を図る観点から、生徒のよい点を積極的に評価していくことが重要であり、適切に評価することが大切である。具体的には、生徒一人一人のよい点や可能性、進捗の状況などの評価（個人内評価）を重視し、学習指導の過程において、適宜、評価の結果を生徒に伝えることにより、その後の学習に意欲的に取り組めるようにし、指導要録の「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に記入し、その後の指導に生かすことが大切である。

なお、生徒の学習状況の評価については、発展的な学習を行ったかどうかに関わらず、学習指導要領に示す目標及び内容に照らして、その実現状況を評価する「目標に準拠した評価」によって行うものである。したがって、発展的な学習に取り組まなければ高い評定（例えば「4」や「5」）などを付けないということではないことに留意する必要がある。

評価の実施に当たっては、評価の観点や評価規準、生徒の発達段階に応じて、生徒との対話、ノート、ワークシート、学習カード、作品、レポート、ペーパーテスト、質問紙、面接など多様な評価方法の中から、その場面における生徒の学習の状況を的確に評価できる方法を選択していくことが必要である。また、生徒による自己評価や生徒同士の相互評価を工夫することが大切である。

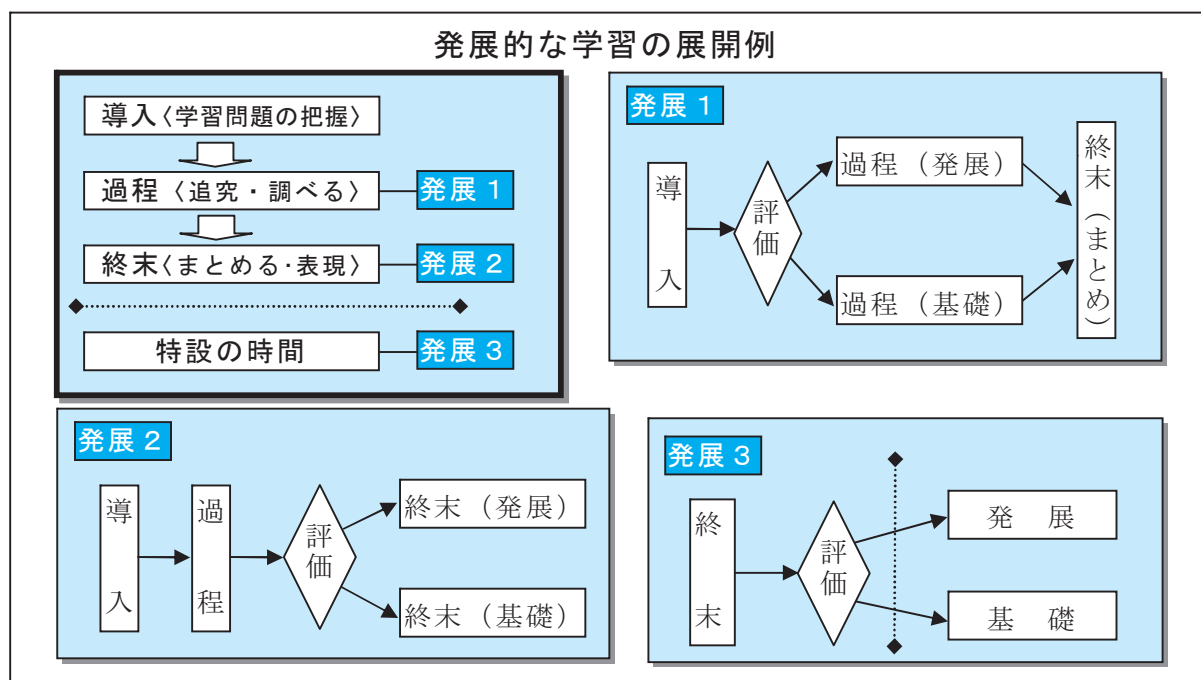
各学校においては、個に応じた指導の充実のため、指導と評価の一体化を進め、指導に生かす評価が可能となるような指導計画を立て、発展的な学習を展開していく必要がある。

5 本指導資料の活用について

本指導資料における指導方法と教材の活用に当たっては、前記の「1 習熟の程度に応じた学習指導」から「4 発展的な学習における評価の基本的な考え方」を十分に踏まえた上で、国語・社会・数学・理科・外国語（英語）における年間指導計画に、組織的・計画的に発展的な学習を位置付けることが大切である。

また、指導計画を位置付ける際には、育成したい資質・能力を明確にし、教科・単元の特性、生徒の学力の定着状況等の実態を十分把握した上で、「単元の指導計画の過程」・「単元の指導計画の終末」・「特設」等、効果的に位置付ける必要がある。

展開方法については、目標や教材特性及び生徒の実態に応じて、個別指導、グループ別指導、一斉指導など、効果的な方法をとる必要がある。



本指導資料の事例は、次のようなフレームによって構成している。

- 1 事例の概要（○時間扱い）
本事例は、どのような発展的な学習なのかを具体的に記述している。
- 2 指導計画の位置付け
本事例は、単元のどこに位置付くのかを記述している。
（「1 単元の過程」「2 単元の終末」「3 特設の時間」）
- 3 目 標
「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から、本事例で培いたい資質・能力を重点化・焦点化して、記述している。
- 4 学習活動の展開
 - 主な学習活動 ・ 学習内容
「○主な学習活動」「・学習内容」や予想される生徒の反応を記述している。
 - 指導上の留意点
指導する上での留意点を、具体的に記述している。
 - 資料等
授業で使用するワークシート、資料等を記述している。
 - ◆ 評価〔方法〕
評価内容、評価の観点、評価方法等を記述している。
- 5 資料等
表、グラフ、読み物、図やワークシート等、授業に活用できるようにしてある。

Ⅱ 社会科における発展的な学習の事例

○ 社会科における発展的な学習についての基本的な考え方

社会科においては、広い視野に立って、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うことを目標としている。

このことを踏まえ、社会科における発展的な学習については、習得した知識、概念や技能を基に、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明する学習を重視した。

また、中学校学習指導要領の目標及び内容に基づき「社会的な見方・考え方をより一層深めること」と、「公民的な資質の向上を図ること」を発展的な学習のねらいとして、指導資料の開発を行った。

○ 社会科において開発した発展的な学習を推進するための指導資料

社会科において開発した発展的な学習を推進するための指導資料は、次の4事例である。

- | | | |
|-----------------------|----------------|---------|
| ① 私たちが行うならこんな農林水産業だ | 世界と比べた日本の地域的特色 | [地理的分野] |
| ② 中世の古戦場－新田義貞の戦いを通して－ | 南北朝の争乱と室町幕府 | [歴史的分野] |
| ③ 文明開化を考える | 近代の日本と世界 | [歴史的分野] |
| ④ 社会のルールを学ぼう | 私たちと現代社会 | [公民的分野] |

1 指導計画の位置付け

社会科において開発した発展的な学習を推進するための教材・指導方法について、指導計画上の位置付けで分類すると、次のようになる。

1 単元の指導計画の過程（途中）に位置付けるもの

- ① 私たちが行うならこんな農林水産業だ
- ② 中世の古戦場－新田義貞の戦いを通して－

2 単元の指導計画の終末に位置付けるもの

- ④ 社会のルールを学ぼう

3 指導計画外の特設された時間を活用するもの

- ③ 文明開化を考える

2 開発した発展的な学習における事例の概要

① 私たちが行うならこんな農林水産業だ（P. 10）

日本の農林水産業の課題を正しく理解し、その解決策を統計資料や既習事項を基に考察し、分かりやすく説明できるようにする。

本事例は、日本の食料自給率低下等の理由を明らかにし、その課題解決策を先進的な地域を調べることを通して、それらの地域の共通性を説明できるようにする。

② 中世の古戦場—新田義貞の戦いを通して—（P. 16）

中世における武家政治の特色を正しく理解し、鎌倉時代から室町時代への時代の転換期について、筋道を立てて考察し、説明できるようにする。

本事例は、新田義貞による倒幕の過程を、地理的な見方や考え方を活用して考察することで、時代の移り変わりを実感し、適切に表現できるようにする。

③ 文明開化を考える（P. 26）

近代における文明開化により、人々の生活が大きく変化したことを理解し、近世から近代への時代の移り変わりについて考察し、説明できるようにする。

本事例は、欧米諸国から取り入れた制度や文化と、日本の制度や文化及び慣習が融合した事例を考察することを通して、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。

④ 社会のルールを学ぼう（P. 36）

社会の諸問題の一つである住宅地の開発に関わる問題を解決する過程を通して、現代社会を捉える見方や考え方を養い、説明できるようにする。

本事例は、住宅地の開発に関わる問題に対して、どのように合意形成を図ったらよいか、ロールプレイを行い、対立と合意、効率と公正についての理解を深めることができるようにする。

第2学年 単元「世界と比べた日本の地域的特色」

(資源・エネルギーや産業から見た日本の地域的特色)

私たちが行うならこんな農林水産業だ

1 事例の概要 (4時間扱い)

(1) 単元について

中学校学習指導要領における「資源・エネルギーと産業」の内容は、「世界的な視野から、日本の資源・エネルギーの消費の現状を理解させるとともに、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観させる」ことをねらいとしている。

このことを踏まえて、発展的な学習として、「日本の農林水産業が直面している課題及びその解決策について、日本国内の先進的な地域を手がかりに分析し、考察する学習」と位置付けた。

(2) 発展的な学習について

本事例は、第一次産業において成長を続けている先進的な地域の取組を調べることを通して、農林水産業の課題に対して、どのように解決を図ったらよいか考察する学習である。このことにより、社会的な思考力・判断力・表現力等を育み、社会的な見方・考え方をより一層深めることをねらいとした。

2 指導計画の位置付け () は発展的な学習に関わる時間

(1) 第一次産業に関する課題を学習し、食料自給率の減少や国際競争における貿易の問題等を調べる。 (2時間)

(2) 第一次産業が直面している課題及びその解決策を分析し、考察する。 (2時間)

3 目標

- 第一次産業に対して、関心・意欲をもち、課題を追究しようとしている。
- 第一次産業に関する課題に基づき、課題解決のために先進的な地域の取組を調べ、それらの共通点とそれぞれの特長を読み取ることができる。
- 第一次産業に関する課題及びその解決策を考え、判断することを通して、世界と比べた日本の地域的な特色を適切に表現することができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第一時	<p>①日本の農林水産業の特色を学習する。</p> <p>②日本の農産物の主な生産地を調べ、主題図を作成する。</p>	<p>□グラフや統計資料を活用し、多角的・多面的に判断できるようにする。</p> <p>□各種農産物における生産地の特色を大まかに捉えさせる。 ●地図帳、白地図 ◆資料から主題図を作成し、特徴を読み取ることができる。 (資料活用の技能) [白地図]</p>
第二時	<p>①現在の日本の食料事情について学習する。統計資料から、食料自給率の変化を読み取り、文章で表現し、発表する。他の生徒の意見を聞き、自分の意見と比較する。</p> <p>②日本の食料自給率が低下してきた理由を考える。</p> <p>③日本とアメリカの農業経営を比較する。日本の農業経営の課題を読み取る。</p> <p>④食料自給率の低下の理由を、既習事項を踏まえて考える。 ・食生活の変化 ・経営規模が小さい ・輸入の増加 (安価な外国産)</p> <p>⑤「日本の産業別人口の割合の変化」の資料から、変化の状況を読み取り、産業の現状と今後の課題について考える。</p>	<p>□「主な農産物の自給率の移り変わり」「主な国の食料自給率」から日本の食料に関する課題に気付かせる。 ●統計資料、ワークシート ◆日本の食料に関する課題を資料から読み取ることができる。(資料活用の技能) [ワークシート]</p> <p>□世界の諸地域や世界から見た日本の自然環境、日本の人口の学習を踏まえ、食料自給率低下の理由の予想を立てさせる。</p> <p>□北アメリカ州の学習を思い出させる。 ●教科書 ◆日本の農業経営の課題から、日本とアメリカの農作物の違いについて考えることができる。 (社会的な思考・判断・表現) [ワークシート]</p> <p>□価格競争では、農業経営規模の大きなアメリカにおされてしまうことに気付かせる。 □農産物の貿易自由化について想起させる。</p> <p>□大まかな流れと年代等の細かい変化を分けて捉えるようにさせる。 ●ワークシート ◆第一次産業の人口の割合が低下していることから、今後の課題を考察することができる。 (社会的な思考・判断・表現) [ワークシート]</p>

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第三時・第四時	<p>学習課題： 日本の第一次産業の課題を克服し、世界に対抗できる日本の農林水産業を考える。ー私たちが行うならこんな農林水産業だー</p> <p>①第一次産業の課題から一つ選び、その課題解決に取り組んでいる地域を調べ、具体的な解決策を学習する。 《具体的な学習展開例》 (課題設定) 「食料自給率の低下を防ぐ」 (資料) 主な農産物の自給率の移り変わり (着眼点) 自給率の高い米 (資料) 都道府県別の米の収穫量 (着眼点) 全国1位の新潟県 (疑問点) 新潟県の稲作の特徴について (資料) 新潟県ホームページ「農林水産業」</p> <p>②課題に基づき、その解決策を発表する。 (課題設定の例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 食料自給率の低下を防ぐ 稲作が盛んな新潟県を参考に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の産出額第1位に注目(平成22年) ↓ ・農家数、農地面積、田の農地面積はいずれも全国3位以内 ・兼業農家の割合が高い (機械化による省力化) ・米の特徴…連作ができる ・農業法人化がすすむ ・米のブランド化を展開 ・米粉を利用した食品開発 <p>結論・提案 食料自給率が低下する中で、米は高止まりをしている。その理由は、現在、米は77.8%という高い関税に守られているからである。貿易が自由化される前に、より一層の省力化、農業法人化等の策を進めるとともに、品種改良により米のブランド化を図ればよいと思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>B 経営規模の拡大を図る 北海道十勝平野の畑作を参考に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕地面積が全国の畑の17%を占めることに注目(平成22年) ・生産農家の割合は全国0.4%に過ぎない。(平成22年) ⇒大規模な農業が展開されている。 ・小麦(24.5%)、馬鈴薯(31.6%)、てんさい(41.0%)の収穫量全国第1位(平成21年) ・広大な土地を利用した機械化、気候の特徴を生かした作物の栽培により、高い収益を上げている。 <p>結論・提案 外国の安い作物には、やはり価格で対抗するしかない。価格を下げるためには大規模化、機械化が必要だと考える。あわせて、各地の気候の特徴を生かした作物への特化も大切だと考える。</p> </div>	<p>□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習課題： 日本の第一次産業の課題を克服し、世界に対抗できる日本の農林水産業を考える。ー私たちが行うならこんな農林水産業だー</p> </div> <p>〈課題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食糧自給率の低下 ・経営状況の悪化 ・第一次産業の衰退 ・就業人口の変化 等 <p>□上記の課題から解決したい課題を生徒一人一人に設定させる。</p> <p>□先進的な地域を選ぶに当たり、統計資料から日本有数の都道府県、市区町村(地域)を設定させる。</p> <p>◆第一次産業の特色や諸課題を踏まえて、設定しようとしている。 (社会的事象への関心・意欲・態度) [ワークシート]</p> <p>□《具体的な学習展開例》に基づいて、課題の解決方法を確認させる。</p> <p>□事前に発表する提案内容は、根拠に基づいているか確認させる。</p>

C 産業構造の変化と向き合う
愛知県田原市の施設園芸農業を参考に

- ・市町村別の農業産出額全国第1位に注目
- ・第一次産業の人口が33.3%を占める
- ・平均年齢は決して高くない
(42.6歳)(平成17年)
- ・豊川用水の通水により、農業が発展。
- ・花きの生産高全国第1位に代表されるように全国的に有名な施設園芸農業が展開される
⇒第一次産業の維持

結論・提案

花きに特化した施設園芸農業により、生育時期に関わらず、年間を通して花きの栽培が可能になっている。愛知県田原市は、全国平均より第一次産業の就業者の割合が高い。また、年間を通して安定した収入が得られ、第一次産業の維持につながっている。

地域の気候に合った作物に生産を特化すればよいと思う。

D 林業の維持・発展に挑戦
高知県梼原町の林業を参考に

- ・市町村別で森林の割合が91.5%と日本有数(平成22年)
- ・小規模経営で林地は細分化
- ・間伐された木材を利用した木質バイオマス地域循環を実施。
- ・木材による町施設の建設
- ・風力発電による売電益を間伐費用等に充てる。
- ・環境モデル都市として、2050年には森林を介した地域資源利用によるエネルギー自給率100%を目指す。

結論・提案

町の面積の約9割を占める森林を資源、エネルギーとして有効活用することにより、産業が維持され、自給自足の社会を実現している。エネルギーという視点から、森林を捉え直し、産業として育てていけばよいと思う。

E 就業人口の変化に立ち向かう
長崎県の漁業を参考に

- ・地形に着目→漁業が盛んではないか?
- ・全国1位の離島数
- ・全国2位の海岸線総距離
- ・全国2位の漁業生産額
- ・全国1位の海面漁業生産量
- ・水産物のブランド化
- ・輸送体制の充実

結論・提案

自然の地形を生かし、ブランド化を図り、航空機などを利用し、大消費地に輸送、販売している。このように、高付加価値化を図れば、漁業を維持することができると思う。

F 品種改良に取り組む、海外へ
福岡県のいちご栽培を参考に

- ・全国2位の生産高
- ・平成13年に品種登録
- ・平成15年から本格輸出
- ・全国の約8割が福岡空港から輸出
- ・10年間で輸出量は10倍に
- ・主な輸出先は香港
- ・世界の経済成長を福岡に
(福岡県の産業振興の中核に)

結論・提案

アジアへの窓口となる地理的な位置を生かし、経済成長の著しい国へ農産物の輸出を展開することが大切である。また、そのためのPRを県を上げて海外に向け行っている。このことにより、県・農協・農家の協同戦略が実を結ぶと思う。

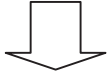
③発表を踏まえ、これからの日本の農林水産業の在り方をレポートにまとめる。

□根拠に基づいて、レポートを書くよう助言する。

第一次産業の課題を解決しよう

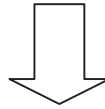
() 組 () 班

私たちの班では、次の課題を解決します。



課題を解決するために使用した資料

私たちが注目した点



使用した資料

課題解決に取り組んでいる地域

なぜ、ここでは、産業が盛んになっているのか

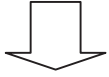
私たちからの提案

第一次産業の課題を解決しよう (生徒記入例)

(●) 組 (▲) 班

私たちの班では、次の課題を解決します。

林業の維持・発展に挑戦



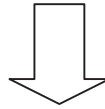
課題を解決するために使用した資料

林野庁ホームページ
「統計情報・都道府県別森林率」



私たちが注目した点

都道府県別の森林率で全国一の高知県に注目
全国平均 67% に対し、高知県は 84%



使用した資料

高知県ホームページ「統計データ」「わがまち・わがむら」

課題解決に取り組んでいる地域

森林の割合が 91.5% の梶原町に注目

なぜ、ここでは、産業が盛んになっているか

- ・森林の割合は、日本の市町村別でも有数の 91.5% を誇る。しかし、小規模経営で、個人の林地は細分化されている。
- ・豊富な森林資源を基にした産業を興している。
(例) 間伐された木材を利用した木質バイオマス地域循環
建築資材とならなかった未使用材を工場に運び、ペレットに加工。加工されたペレットは、事業所、施設、一般家庭で暖房の燃料として使用され、その燃焼灰を農地に還す。
- ・木材による町施設の建設 (町総合庁舎、木製の車道橋や歩道橋、町営の温水プール、地域交流センターなど)
- ・自然の地形、気候を生かした風力発電を行い、売電益を森林の間伐費用に充てる。
- ・環境モデル都市として、2050 年には森林を介した地域資源利用によるエネルギー自給率 100% を目指している。

私たちからの提案

第1学年 単元「中世の日本」（南北朝の争乱と室町幕府）

中世の古戦場－新田義貞の戦いを通して－

1 事例の概要（10時間扱い）

(1) 単元について

中学校学習指導要領における「中世の日本 ア」の内容は、「鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府」などを通して、「武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に広まる」ことをねらいとしている。

このことを踏まえて、発展的な学習として、中世の古戦場や鎌倉街道など身近な地域の具体的な歴史的事象を、地図や資料などから考察する学習を位置付けた。

(2) 発展的な学習について

本事例は、身近な地域である中世の古戦場を舞台とした新田義貞の戦いを考察することを通して、時代の大きな転換期に対する理解を深め、さらに地理的な見方や考え方を活用することにより、鎌倉から室町への移り変わりを考えることができるようにする。このことにより、社会的な思考力・判断力・表現力等を育み、社会的な見方・考え方をより一層深めることをねらいとした。

2 指導計画の位置付け（ は発展的な学習に関わる時間）

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 鎌倉幕府の成立 | (1時間) |
| (2) 鎌倉時代のくらしと文化 | (1時間) |
| (3) 元寇と鎌倉幕府の滅亡 | (1時間) |
| (4) 元寇後の社会の変化 | (1時間) |
| (5) 鎌倉を攻めた新田義貞 | (1時間) |
| (6) 建武の新政と室町幕府 | (1時間) |
| (7) 東アジアとのかかわり | (1時間) |
| (8) 農村のくらしと人々の団結 | (1時間) |
| (9) 応仁の乱と社会の変動 | (1時間) |
| (10) 戦国大名の登場 | (1時間) |

3 目標

- 永仁の徳政令など当時の社会の状況を捉え、幕府と御家人の関係を考え、鎌倉幕府が崩壊していったことを理解する。
- 地域にある中世の古戦場における戦いを調べ、鎌倉幕府倒幕の過程を具体的に捉えることができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第四時（発展 第一時）	<p>①元寇の起きた時代と内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文永の役 ・ 弘安の役 <p>②元寇後の社会の状況について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貨幣制度の広まり ・ 分割相続 ・ 恩賞や執権政治への不満 <p>T：ワークシート1に、それぞれの調べたことをまとめましょう。</p> <p>③永仁の徳政令などをめぐる幕府の意図と御家人のくらしの様子を考える。</p> <p>T：元寇後の御家人のくらしはどうだったのでしょうか。</p> <p>S：土地などの恩賞をもらえず、生活が苦しくなった。</p> <p>S：出兵のときの借金を返せず、困っていた。</p> <p>T：なぜ、蒙古が敗退したのに、御家人たちは恩賞をもらえなかったのでしょうか。</p> <p>S：幕府は御家人に与える土地がなかったから。</p> <p>T：そこで幕府はどうしたのでしょうか。</p> <p>S：御家人の借金を帳消しにする法律を出して、御家人の生活を救おうとしたと思う。</p> <p>S：それは、永仁の徳政令のことですね。</p> <p>T：永仁の徳政令の後、世の中は、どのようになっていったと思いますか。</p> <p>S：御家人のくらしは、永仁の徳政令だけでは楽にならなかったと思う。</p> <p>S：幕府に対して不満をもった御家人も増えてきたと思う。</p> <p>S：幕府自身の力も弱くなってきたと思う。</p> <p>S：武士の政権を倒そうとする動きが出てきたと思う。</p>	<p>□元寇前と元寇後の、御家人を取り巻く社会の状況が変化してきたことを捉えさせる。</p> <p>●教科書、資料集、ワークシート「1 元寇後の社会の変化」</p> <p>□資料から必要な情報を読み取るよう助言する。</p> <p>◆資料から元寇後の社会状況について、その要点をまとめることができる。（資料活用 の技能）[ワークシート]</p> <p>□個人→グループで、幕府の意図、御家人のくらしの様子について、事実に基づいて考えさせ、根拠をもって発表させるようにする。</p> <p>●教科書、資料集、ワークシート「2 永仁の徳政令」</p> <p>◆永仁の徳政令から幕府の意図、御家人のくらしの様子を捉えることができる。（社会的な思考・判断・表現）[ワークシート]</p> <p>□倒幕に向かう社会の変化に気付かせる。</p>

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第五時 (発展 第二時)	<p>①授業の流れを確認する。 T：今日は、倒幕の動きについて、具体的に調べてみましょう。</p> <p>②鎌倉を攻めた新田義貞について調べる。 ・南武線分倍河原駅前の銅像 ・銅像が分倍河原に建てられた理由</p> <p>T：「鎌倉街道」について分かる人はいますか。 S：私たちのすぐ近くに「鎌倉街道」が今もあります。 T：鎌倉街道を調べてみよう。 S：一つじゃない。いくつもある。 S：みんな鎌倉に向かっている。 T：鎌倉街道は何のためにあったのでしょうか。 S：「いざ鎌倉」という言葉にもあるように、御家人が幕府のもとに馳せ参じるためにつくられた。 T：新田義貞は、どこから鎌倉に向かったのだろう。 S：地図の中に「新田」という地名があるからここからだと思う。 S：新田義貞は、鎌倉街道を使って「新田」から鎌倉へ向かったと思う。</p> <p>③新田義貞の鎌倉までの足取りを調べる。 S：小手指までは順調に進んできているのに、その後、ゆっくりになっている。 S：関戸からは1日で鎌倉へ向っている。 T：その間に何があったのだろう。 S：新田義貞が出発したときは、総勢150騎しかいなかったのに、最後は、60万騎にもなっている。 S：なぜ、新田義貞についてきた軍勢がこんなに増えているんだろう。 S：きっと御家人が、新田義貞についていったのではないのでしょうか。 S：御家人は、元寇が終わってから領地をもらえず幕府に不満をもっていたと思う。だから、幕府との戦いに勝てば、新しい領地がもらえると思ったから新田義貞についていったのではないのでしょうか。</p>	<p>□鎌倉を攻めるために鎌倉街道を利用し、分倍河原で合戦があったことに気付かせる。</p> <p>□鎌倉街道が身近な地域の近くにも通っていたことに気付かせる。</p> <p>●ワークシート「3 鎌倉幕府の御家人」、 「4 いざ鎌倉へ『鎌倉街道』」</p> <p>□地図で鎌倉街道にマーカーをひかせる。</p> <p>□鎌倉を攻めるために鎌倉街道を利用し、分倍河原で合戦があったことに気付かせる。鎌倉街道が本来とは反対の目的で使われたことに気付かせる。</p> <p>●ワークシート「5 鎌倉幕府との戦い」</p>

<p>④新田義貞と幕府の戦いの様子（中世の古戦場）について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦場となった理由 ・戦いに有利な条件 <p>T：新田軍と幕府軍との戦場となった場所はどこですか。</p> <p>S：小手指ヶ原、久米川、分倍河原です。</p> <p>T：優勢だった新田軍が一時、退却した戦場があります。それはどこだと思いますか。</p> <p>S：分倍河原だと思います。なぜなら、新田軍の進む先には、多摩川があるからです。逆に幕府軍が多摩川に守られているからです。</p> <p>S：新田軍の後（北側）には、府中という昔の国府（幕府軍）があり、後ろから幕府軍が攻めることができるので、分倍河原だと思います。</p> <p>S：あっそうか。分倍河原なら新田軍を挟み撃ちにできると思います。</p>	<p>□地形図（地形）を見て、平地や丘陵、河川などの地理的条件や、国府に近いなどの歴史的背景を、当時の人々がどのように戦いに生かしたか着目させる。</p> <p>●ワークシート「6 地図から読み取ろう」、「7 中世の古戦場」</p> <p>◆地形図や歴史的特色（国府：府中）から分倍河原では幕府軍が新田軍を挟み撃ちにできたことを捉える。（社会的な思考、判断、表現）[ワークシート]</p>
<p>⑤新田義貞が、鎌倉幕府をどうやって攻めたかを話し合う。</p> <p>S：鎌倉は三方を山に囲まれているから攻めることは難しいです。</p> <p>S：南側が海となっているが、ここから攻めることも難しいと思います。</p> <p>S：潮の満ち引きを利用して、海から入る方法が一番攻めやすいと思います。</p> <p>S：鎌倉街道から攻めたと思います。</p> <p>⑥新田義貞が幕府を倒す戦いにおいて、戦いを有利に進めた理由をまとめる。</p>	<p>□鎌倉幕府の立地条件を基に、どのように攻めたのか話し合えるようにする。</p> <p>◆根拠に基づいた話し合いに参加しようとしている。（社会的な事象への関心・意欲・態度）[観察]</p> <p>●ワークシート「8 鎌倉幕府の滅亡」</p> <p>◆歴史的な事実を基に自分の考えをまとめることができる。（社会的な思考・判断・表現）[ワークシート]</p> <p>●ワークシート「9 新田義貞の戦いを通して」</p>

5 参考資料

- ・「武蔵村山市史 通史編 上巻」 武蔵村山市史編さん委員会 平成14年 武蔵村山市
- ・「武蔵村山市史 資料編 古代・中世」 武蔵村山市史編さん委員会 平成11年 武蔵村山市
- ・「東村山市史1 通史編 上巻」 東村山市史編纂委員会 平成14年 東村山市
- ・「東村山市史6 資料編 古代・中世」 東村山市史編纂委員会 平成8年 東村山市
- ・「新田義貞鎌倉攻めと徳蔵寺元弘の板碑」 大多和晃紀編著 昭和58年 東村山市教育委員会 徳蔵寺板碑保存会
- ・「史料と遺跡が語る 中世の東京」 峰岸純夫 木村茂光 編 1996年 新日本出版社
- ・「鎌倉街道と中世の道—狭山丘陵の中世—」 東村山ふるさと歴史館 平成22年
- ・「パルテノン多摩歴史ミュージアム特別展 関戸合戦 多摩市関戸に残る中世の伝承とその背景」 パルテノン多摩 財団法人多摩市文化振興財団 平成17年
- ・「特別展 正福寺展—国宝・地藏堂建立600周年記念—」 東村山ふるさと歴史館 平成19年
- ・「小平町誌」 小平町誌編纂委員会 昭和34年
- ・「国分寺市史」 国分寺市史編さん委員会 昭和61年

中世の古戦場-新田義貞の戦い-

1 元寇後の社会の変化

元寇後、御家人の生活はどのように変化していったか調べてみよう。

① 貨幣制度の広まり

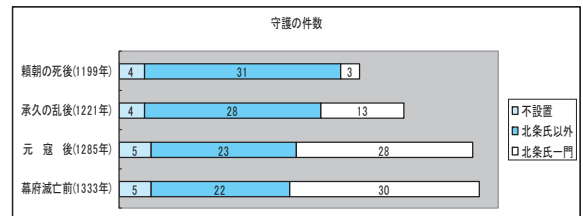
② 分割相続

本 領	荘 園
領	園

本 領	荘 園
相 続 が	分 割 供 で

③ 恩賞

④ 執権政治への不満



【考えてみよう】

元寇後の社会の変化によって、御家人の幕府に対する気持ちはどのように変わっていったと思いますか。

2 永仁の徳政令

永仁の徳政令(1297年)

御成敗式目を守り、御家人などが買った土地のうち、売買から 20 年過ぎた土地については、売り主は取り返してはならない。御家人以外や一般人（高利貸し）が買った土地については、経過した年月に関係なく売り主は取り返すことができる。

領地の質入や売買は、御家人たちの困窮の原因である。今後は一切禁止する。

(東寺百合文書)

幕府は何のために『永仁の徳政令』を出したと思いますか。

『永仁の徳政令』が出されたことにより、御家人の生活や幕府に対する気持ちはどのようになったと思いますか。

【考えてみよう】

元寇の役や永仁の徳政令など当時の社会状況を踏まえ、御家人たちはこれからどのような動きをしていくと思いますか。

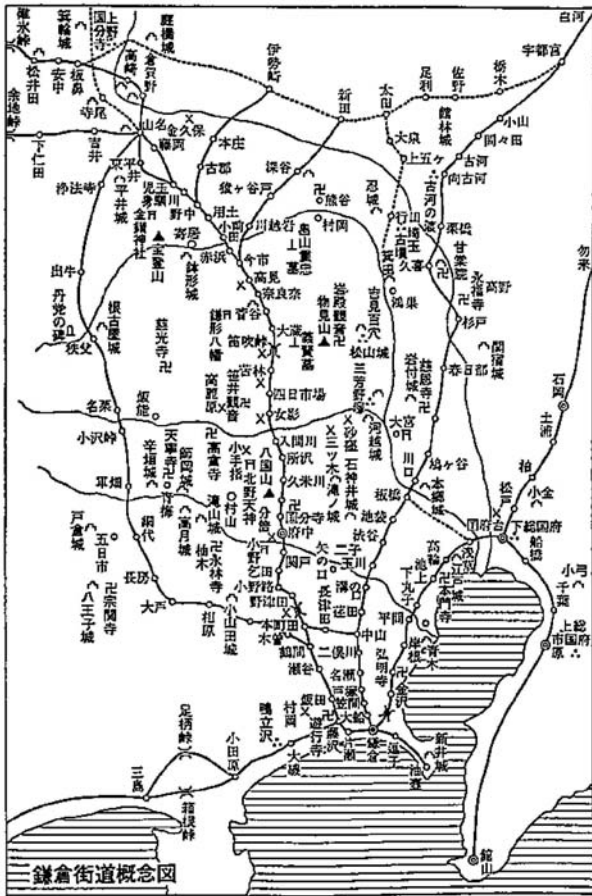
3 鎌倉幕府の御家人



この写真は、南武線分倍河原駅前にある銅像です。

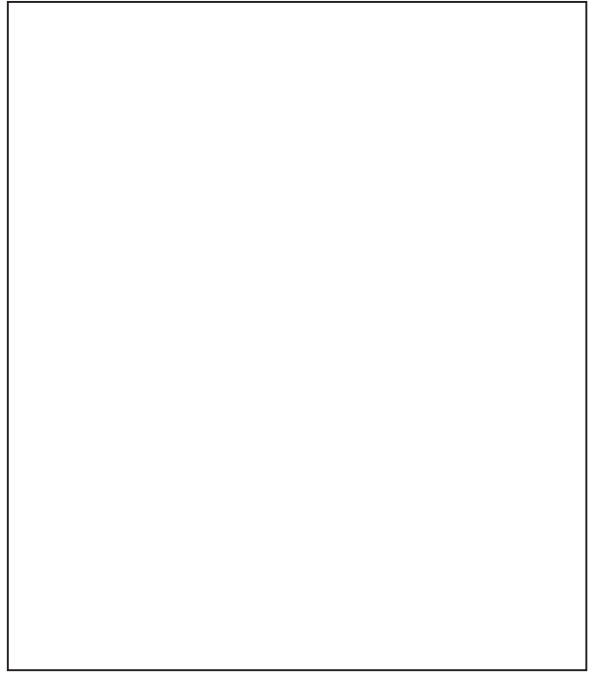
誰の銅像でしょうか。

4 いざ鎌倉へ『鎌倉街道』



◎『鎌倉街道』をなぞってみよう。

◎どのようなことがいえるでしょうか。



5 鎌倉幕府との戦い



新田義貞の挙兵から鎌倉までの歩み

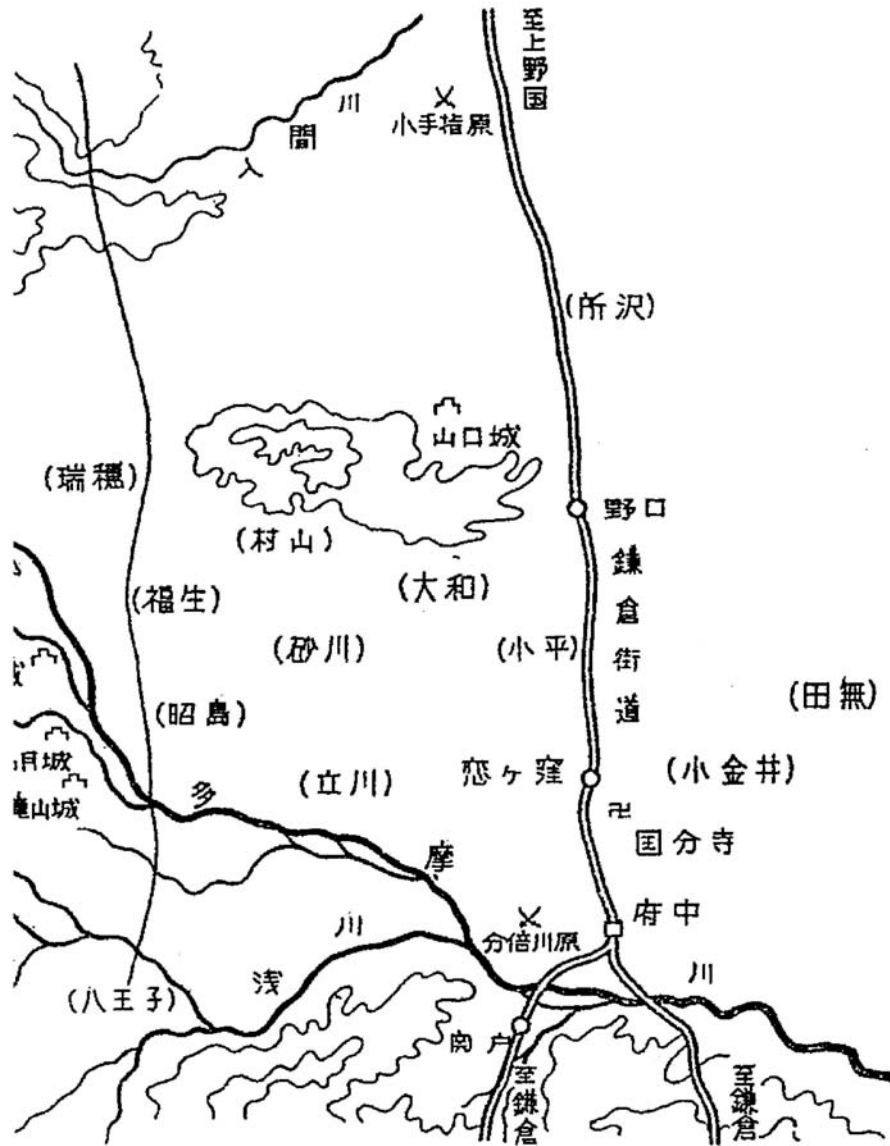
5月8日の午前6時、生品神社の社前で旗揚げを行い、進んで行った。…総勢150騎にも足りなかった。その日の夕方に2000騎ほどが砂塵を立ててやってきた。…

同月9日武蔵国へ進出なさると、足利殿のご息千寿王とともに200余騎が駆けつけた。…その日の暮れ方には、20万7千余騎が兜を連ねて待機した。だから、東西南北八百里を超える広さの武蔵野に、人馬ともに満ち満ちて、身動きする場所すらなかった。…

義貞が鎌倉方との数回にわたる合戦に勝利をおさめなさったと伝えられると、関東8か国の武士たちが義貞に従いつくことは、あたかも雲や霞が湧き出るようであり、義貞は関戸に1日逗留して、軍勢の到着を記帳なさった。軍奉行の記録では、60万7千余騎となった。

(『太平記』から作成)

6 地図から読み取ろう



7 中世の古戦場

新田軍が一時、退却した戦場はどこでしょう。

【考えてみよう】

「小手指ヶ原の戦い」「久米川の戦い」「分倍河原の戦い」から選び、考えましょう。

戦い

その理由を地形的な特色と歴史的な背景から考えてみましょう。

8 鎌倉幕府の滅亡



(この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(鎌倉)を使用したものである。)

稲村ヶ崎



鎌倉街道の切り通し



【考えてみよう】

新田義貞は、攻め入ることが難しい鎌倉をどのようにして攻撃したと思いますか。

9 新田義貞の戦いを通して

【新田義貞は、なぜ鎌倉を攻めることができたのだろうか】

第2学年 単元「近代の日本と世界」(歴史的分野)

文明開化を考える

1 事例の概要 (2時間扱い)

(1) 単元について

中学校学習指導要領における「近代の日本と世界 イ」の内容は、「開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる」ことをねらいとしている。

このことを踏まえて、発展的な学習として、文明開化において、欧米諸国から取り入れた制度や文化の中には、従来の日本独自の制度や文化(慣習)と結び付け創造されたものがあることを捉えさせ、文明開化について考察する学習を位置付けた。

(2) 発展的な学習について

本事例は、欧米諸国から取り入れた制度や文化が、わが国にどのような影響を与えたのか具体的に調べ、日本にとって、「文明開化はどのようなものだったのか」を考察することをねらいとした。

2 指導計画の位置付け (は発展的な学習に関わる時間)

年表や資料から、欧米諸国から取り入れられた制度や文化を調べ、日本にとっての文明開化とはどのようなものだったのか、考察する。 (2時間)

3 目標

- 欧米諸国から取り入れられた制度や文化を調べ、日本にとっての文明開化とはどのようなものだったのか、考え、判断し、適切に表現することができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第一時	①文明開化とその影響について復習する。 T: 明治政府により、欧米諸国から取り入れたものには、どのようなものがありますか。 ふり返ってみましょう。 S: 学制、兵制や税制などがあります。 T: それぞれ江戸時代にはなかった制度ですか。 S: いいえ。兵制は武士が担い、税制は年貢というものがありました。 T: 学校はありませんでしたか。 S: 幕府や藩が作っていたものや寺子屋はありました。 S: よく考えてみると、税や学校のようなものは明治時代より古くから日本にあったのですね。	□既習事項を丁寧にふりかえらせる。 ●教科書、資料集、ノート □江戸時代との関わりについて気付かせるようにする。 □税制については、古代の租庸調、江戸時代の年貢などを想起させる。 □藩校や寺子屋などの教育施設の数、15000であったことを紹介する。

S：他にも洋服やガス灯、鉄道、郵便などがあります。

T：郵便制度は、今までなかったのですか。

S：江戸時代には、飛脚制度が発達していて、五街道が整備されていました。

S：新しく入ってきたものと今まであったものが結び付いたんだね。

T：それらをまとめるとどのようなことが言えますか。

S：開国により、日本は欧米諸国から数多くの制度や文化を取り入れ、社会や人々の生活が大きく変わったことが分かります。

●資料 ワークシート

◆資料から、人々の生活の違いを読み取ることができる。

(資料活用の技能) [ワークシート]

□文明開化について具体的な事例を通して捉えられるようにする。

学習課題：日本にとって文明開化とはどのようなものだったのか。

②学習課題を解決するための調べ活動を行う。

□文明開化に関する具体的な事例から、仮説を立てられるようにする。

〈予想される生徒の仮説〉

- ・欧米諸国からガス灯や郵便制度など新しいものを取り入れ、文明国仲間入りするきっかけとなったのが文明開化だと思う。
- ・欧米諸国からパンやカレーライスが紹介され、日本人の食生活も欧米諸国の人たちと同じものになった。文明開化とは欧米化だと思う。

〈予想される生徒の調査対象〉

軍隊 税金 学校 鉄道 ガス灯 洋館 牛なべ あんパン カレーライス
繊維工場 郵便 電信 水道 新聞 傘 など

・個人で調査対象を調べる。

●Web、図書資料、ワークシート

◆学習課題を解決するために必要な資料を収集することができる。

(資料活用の技能) [ワークシート]

〈生徒が収集した資料〉(例)

調査対象：あんパン

パンの語源はポルトガル語で、南蛮貿易で日本に入ってきた。しかし、鎖国によりパンの文化は一時廃れる。開国後、再び日本にパンが持ち込まれる。戦いの時の食料として適していることから、江川太郎左衛門が兵糧パンを考案する。しかし、日本人には主食としてなかなか受け入れられなかった。銀座で、日本の食の一つである「あん」と融合した「あんパン」が考案され、流行となる。「あん」は、飛鳥時代に日本に持ち込まれたあずきから作られるもので、江戸時代にはぜんざいやまんじゅうの素材として使われた。主食ではなく、菓子として食され、日本独特の菓子パン文化の基となった。今では、ジャムパンやクリームパン、カレーパンなど様々な種類の菓子パンが作られている。

〈生徒が収集した資料〉(例)

調査対象：郵便制度

通信の制度は、すでに大化の改新の時には整えられていました。その後、時代ごとに通信の制度が確立されましたが、体制や幕府がおとろえると制度もすたれていきました。

江戸時代になると、世の中も安定して手紙を運ぶ制度として飛脚が発達しました。明治維新後、近代的な統一国家成立に伴い、前島密が、イギリスの郵便制度を基にして 1872 年に郵便の全国網をつくりあげました。当時、ヨーロッパで急進していた低額の簡易郵便「ポストカード」を、1873 年に発行しました。江戸時代に広まっていた「年賀の書状」と結び付き、郵便はがきは急速に普及しました。

③調べたことを基に自分の考えをまとめる。

◆収集した資料を基に、自分の考えをまとめることができる。

(資料活用の技能) [ワークシート]

〈生徒がまとめた考え〉(例)

調査対象：あんパン

まとめ：



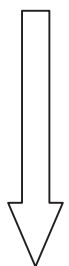
パンが、日本国内に広まったのは、開国後のことであつた。もともと主食であつたパンに、すでに日本文化として定着していた「あん」を入れることで、菓子として大流行した。
日本と西洋の文化が融合したことで、新たな価値を生み出し、今では菓子パンとして日本の食文化の一つとして位置付いている。

キーワード：日本と欧米の融合による価値の創造

〈生徒がまとめた考え〉(例)

調査対象：郵便制度

まとめ：



郵便制度の歴史は、古代にまでさかのぼるが、国の勢いと比例し、栄枯盛衰を繰り返す。江戸時代に入り、町飛脚がつくられたことで、武士だけでなく、町人にも裾野が広がった。近代的な国家の建設のために、郵便制度を確立する必要があつた。そのためには、限られた身分の人が利用するだけでなく、多くの人が利用できる制度として定着させることが大切であつた。そこで、その切り札として、はがきや年賀(年始の挨拶の慣習)はがきが作られ、現在の繁栄の基礎がつくられた。

キーワード：欧米の制度と日本の慣習の融合、利用者の裾野を広げる。

□まとめた内容から感じたこと・考えたことをキーワードで表現させることにより、その要点を捉えられるようにする。

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第二時	①グループで意見交換をする。 ・調査対象ごとにグループをつくり、各グループ内で、それぞれが文明開化に関する考えを発表する。	●ワークシート ◆文明開化に対するそれぞれの考えを学び、文明開化に対する見方・考え方を広げ、深める。(社会的な思考・判断・表現) [ワークシート]
	〈調査グループ〉(例) 軍隊 税金 学校 郵便 電信 繊維工業 → 制度グループ 鉄道 ガス灯 水道 → ライフライングループ 牛なべ あんパン カレーライス → 食べ物グループ 新聞 傘 洋館 → 生活グループ	
	〈食べ物グループのまとめ〉(例) 学習課題 日本にとって文明開化とはどのようなものだったのか。 仮説 欧米諸国からパンやカレーライスが紹介され、日本人の食生活も欧米諸国の人たちと同じものになった。文明開化とは欧米化だと思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">牛なべ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、牛肉は嫌われていた。 ・紅葉鍋のアレンジ料理 ・具やたれに改良を重ね発展、和食に。 <li style="text-align: center;">↓ ・日本の食文化にアレンジ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">あんパン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンは主食として受け入れられない。 ・日本の食である「あん」と融合 ・主食でなく菓子として発展 <li style="text-align: center;">↓ ・日本と西洋の融合による価値の創造 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">カレーライス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の留学生が紹介するが、評判は悪い。 ・クラーク博士が唯一認める米食 ・カレールーは日本の発明品 <li style="text-align: center;">↓ ・手軽な食事として家庭に浸透 </div> </div>	
	〈食べ物グループでの意見交換後の生徒の文明開化に関する考え方〉(例) 欧米の食文化は、当初、日本人の味覚に合わず、なかなか受け入れられなかったが、開国以前の日本の食文化と融合することで、新たな食文化が誕生した。そして、現在では、外国にも日本の食文化として輸出されている。このことから、日本における文明開化とは、ただ単に欧米の文化を受け入れるだけでなく、互いのよさを見だし、二つの文化を融合することで新たな価値を生み出すものである。	□共通点と相違点を明確にさせ、各グループにおける考え方を表現させる。 □意見交換後、文明開化に対する考え方と仮説を比較させる。

〈ライフライングループでの意見交換後の生徒の文明開化に関する考え方〉(例)

富国強兵をすすめるために、欧米の進んだ技術を国が率先して取り入れた。例えば、鉄道は1869年、東京から神戸の間に建設することが決定され、そしてイギリスの技術と資材の導入によって、1872年新橋から横浜の間に最初の鉄道が開業した。さらに、1889年には、東海道全線を開通させた。

欧米から技術を取り入れ、さらによりよいものを作っていくのは、現代も同じだ。例えば、新幹線は速度や安全性において世界トップクラスの乗り物である。日本にとっての文明開化とは、日本の技術力向上の種となり、現在そして今後の日本の産業の創出に大きな貢献をしたものだと考えられる。

・グループとしての文明開化に関する考え方を発表する。

②全体での意見交換をする。

□共通点と相違点を明確にさせる。

〈全体のまとめ〉(例)

学習課題 日本にとって文明開化とはどういうものだったのか。

制度グループ

- ・欧米の進んだ制度を、国として積極的に取り入れた。
- ・多くの人に利用されるために、それまでの日本の慣習を取り入れる。

<キーワード>

国が率先し欧米の制度を取り入れ、日本の慣習と融合し、発展

食べ物グループ

- ・欧米から入ってきた食べ物は、日本人の好みに合わなかった。
- ・形を変え、日本独特の食文化として新たな価値を創出した。

<キーワード>

それぞれのよさを見だし、新たな価値を創出



《私が考える文明開化論》

文明開化とは、日本の伝統と欧米のよさを結び付け、日本独自の新たなものを創出するきっかけである。近代化を後押しした。

ライフライングループ

- ・欧米の進んだ技術を、国として積極的に取り入れた。
- ・その後の日本の技術革新の原動力となり、現在では日本が技術を輸出するようになった。

<キーワード>

進んだ技術が、日本のさらなる技術革新を創出、さらに世界へ

生活グループ

- ・日本にあった印刷技術を基に欧米の印刷技術を活用した。
- ・新聞は多くの人々の見方・考えを広げ、深めた
- ・自由民権運動の広まり。

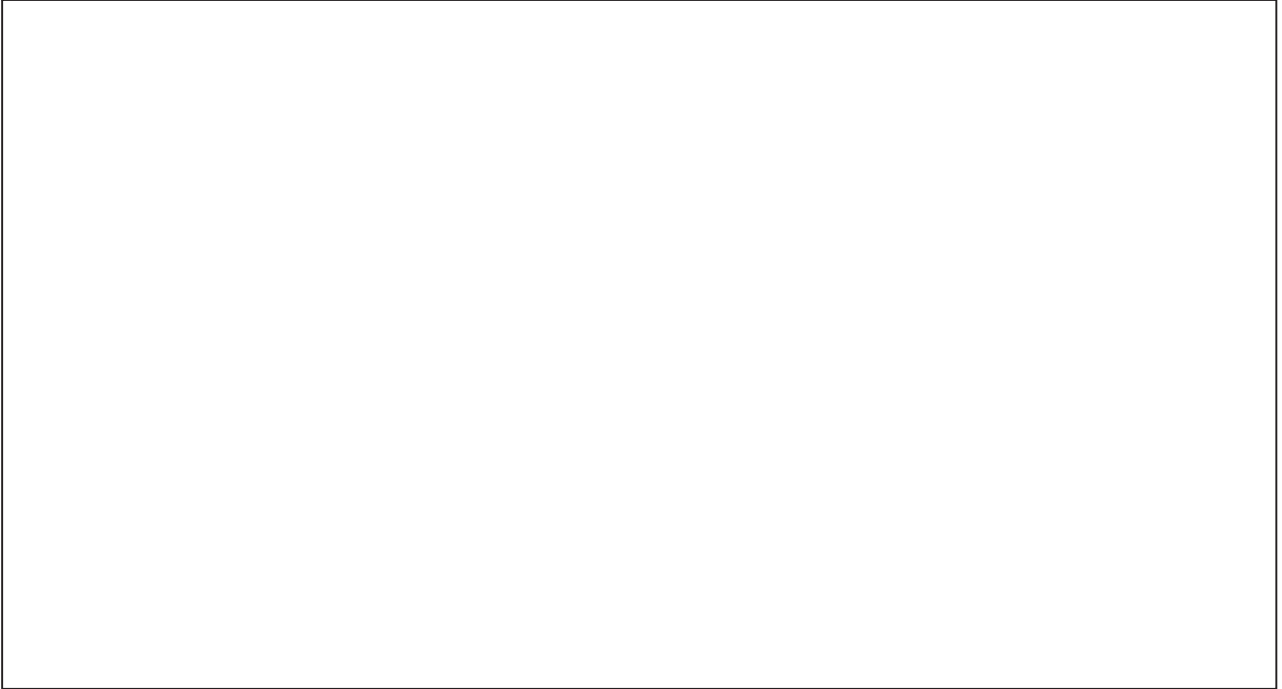
<キーワード>

世界に目を向ける

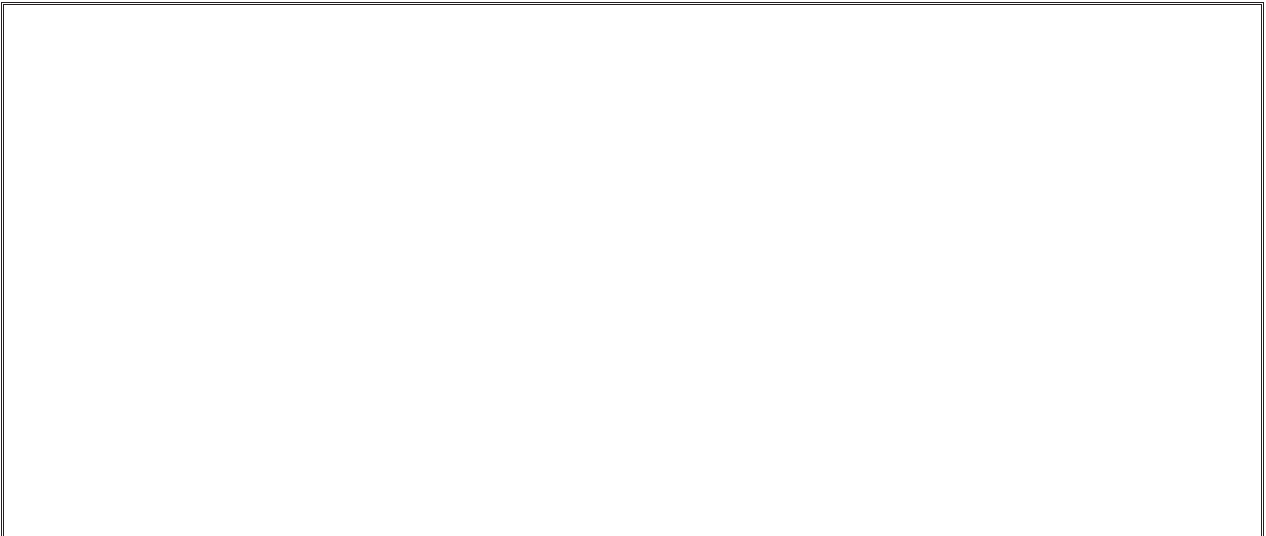
<p>③学習課題「日本にとって文明開化とはどういうものだったのか」について意見交換を踏まえてまとめる。</p>	<p>◆「文明開化とはどういうものだったのか」自分の考えを表現できる。(社会的な思考・判断・表現) [ワークシート]</p>
<p>〈学習課題についてのまとめ〉(例)</p> <p>私は、日本にとっての文明開化を、「欧米からガス灯や郵便制度など新しいものを取り入れ、文明国の仲間入りのきっかけとなった」という仮説を立てた。</p> <p>しかし、調べたことをまとめ、「制度グループ」内や全体での意見交換を通して、欧米の進んだ文化を受け入れただけでなく、それまでの日本の文化や慣習と融合させたことで、新しいものを創造したものが多いことが分かった。</p> <p>これらのことから、日本にとっての文明開化は、「欧米の文化を受け入れつつも、新たな価値を生み出したこと」だと考える。</p>	

学習課題：日本にとって文明開化とはどのようなものだったのか。

1 資料から、近代の人々の生活を読み取ろう。



2 学習課題の仮説を立てよう。



私は、日本にとっての文明開化を考えるために



について調べます。

調べた内容

3 調べた内容からキーワードをあげてみよう。

4 わたしの調査した内容は、

グループです。

5 グループとしての文明開化に対する考え方をまとめてみよう。

6 私が考える「日本にとっての文明開化」とはどのようなものか、自分なりに考えてみよう。

第3学年 単元「私たちと現代社会」（個人と社会の関係）

社会のルールを学ぼう

1 事例の概要（4時間扱い）

(1) 単元について

中学校学習指導要領における「私たちと現代社会 イ 現代社会をとらえる見方や考え方」の内容は、「人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などを理解させる」ことをねらいとしている。

このことを踏まえて、発展的な学習として、住宅地において生じた問題に対して、生徒が多様な考え方をもつ人の立場を演じ、合意していく過程を体験することにより、公民的な資質の基礎を育てていくという学習を位置付けた。

(2) 発展的な学習について

本事例は、住宅地における問題を基に、様々な立場の人の意見を調整しながら合意形成を図ることを通して、「現代社会をとらえる見方や考え方」を深めさせることをねらいとした。

2 指導計画の位置付け（ は発展的な学習に関わる時間）

- | | |
|-------------------------------------------|-------|
| (1) 私たちの身近なところにある社会問題について考えよう。 | (1時間) |
| (2) ショッピングセンターの利用について、それぞれの人はどう思っているのだろう。 | (1時間) |
| (3) 異なった立場の人の意見を聞こう。 | (1時間) |
| (4) 妥協できるルールを話し合い発表しよう。 | (1時間) |

3 目標

- 公正性の観点から、より多くの立場の人に受け入れられるルールをつくらうとしている。
- ロールプレイ及び考察を通して、立場の異なる意見があることに気づき、対立点と合意点を明らかにすることで、意見を調整する必要があることが分かる。
- 対立と合意、効率と公正などの観点から、社会のルールについて考え、判断し、表現することができる。

4 学習活動の展開

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]																																																
第一時	①個人と社会の学習をふりかえる。 ・ 私たちは社会の集団の一員である。	□個人と社会の関係について、ノートをつりかえるようにする。																																																
学習課題：私たちの身近なところにある社会問題について考えよう。																																																		
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>・ ロールプレイの説明を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 同じ立場の人が話し合うジグソー班とそれぞれの立場が集まって作られるカウンターパート班があり、相互に話し合いを行いながらルールづくりをしていくことを説明する。 </div> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>□ロールプレイであるため、各役割になりきって話し合うよう指示する。</p> <p>□ジグソー班とは、「ある決まった立場（役割）から問題について話し合う」班のことであり、カウンターパート班とは、「各立場（役割）からそれぞれ一人ずつ集まり問題について話し合う」班のことである。</p> </td> </tr> </table>			<p>・ ロールプレイの説明を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 同じ立場の人が話し合うジグソー班とそれぞれの立場が集まって作られるカウンターパート班があり、相互に話し合いを行いながらルールづくりをしていくことを説明する。 </div>	<p>□ロールプレイであるため、各役割になりきって話し合うよう指示する。</p> <p>□ジグソー班とは、「ある決まった立場（役割）から問題について話し合う」班のことであり、カウンターパート班とは、「各立場（役割）からそれぞれ一人ずつ集まり問題について話し合う」班のことである。</p>																																														
<p>・ ロールプレイの説明を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 同じ立場の人が話し合うジグソー班とそれぞれの立場が集まって作られるカウンターパート班があり、相互に話し合いを行いながらルールづくりをしていくことを説明する。 </div>	<p>□ロールプレイであるため、各役割になりきって話し合うよう指示する。</p> <p>□ジグソー班とは、「ある決まった立場（役割）から問題について話し合う」班のことであり、カウンターパート班とは、「各立場（役割）からそれぞれ一人ずつ集まり問題について話し合う」班のことである。</p>																																																	
<p>ジグソー班とカウンターパート班の図(例)</p> <table border="0" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="3">○ジグソー班</td> <td colspan="3">○カウンターパート班</td> </tr> <tr> <td>5-4 5-1</td><td>3-4 3-1</td><td>1-4 1-1</td> <td>4-2 1-5</td><td>4-6 1-3</td><td>4-4 1-1</td> </tr> <tr> <td>5-5 5-2</td><td>3-5 3-2</td><td>1-5 1-2</td> <td>5-3 2-6</td><td>5-1 2-4</td><td>5-5 2-2</td> </tr> <tr> <td>5-6 5-3</td><td>3-6 3-3</td><td>1-6 1-3</td> <td>6-4 3-1</td><td>6-2 3-5</td><td>6-6 3-3</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">➡</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>6-4 6-1</td><td>4-4 4-1</td><td>2-4 2-1</td> <td>4-3 1-6</td><td>4-1 1-4</td><td>4-5 1-2</td> </tr> <tr> <td>6-5 6-2</td><td>4-5 4-2</td><td>2-5 2-2</td> <td>5-4 2-1</td><td>5-2 2-5</td><td>5-6 2-3</td> </tr> <tr> <td>6-6 6-3</td><td>4-6 4-3</td><td>2-6 2-3</td> <td>6-5 3-2</td><td>6-3 3-6</td><td>6-1 3-4</td> </tr> </table> <p>注). (班番号－生徒番号)をあらかず。</p>			○ジグソー班			○カウンターパート班			5-4 5-1	3-4 3-1	1-4 1-1	4-2 1-5	4-6 1-3	4-4 1-1	5-5 5-2	3-5 3-2	1-5 1-2	5-3 2-6	5-1 2-4	5-5 2-2	5-6 5-3	3-6 3-3	1-6 1-3	6-4 3-1	6-2 3-5	6-6 3-3	➡						6-4 6-1	4-4 4-1	2-4 2-1	4-3 1-6	4-1 1-4	4-5 1-2	6-5 6-2	4-5 4-2	2-5 2-2	5-4 2-1	5-2 2-5	5-6 2-3	6-6 6-3	4-6 4-3	2-6 2-3	6-5 3-2	6-3 3-6	6-1 3-4
○ジグソー班			○カウンターパート班																																															
5-4 5-1	3-4 3-1	1-4 1-1	4-2 1-5	4-6 1-3	4-4 1-1																																													
5-5 5-2	3-5 3-2	1-5 1-2	5-3 2-6	5-1 2-4	5-5 2-2																																													
5-6 5-3	3-6 3-3	1-6 1-3	6-4 3-1	6-2 3-5	6-6 3-3																																													
➡																																																		
6-4 6-1	4-4 4-1	2-4 2-1	4-3 1-6	4-1 1-4	4-5 1-2																																													
6-5 6-2	4-5 4-2	2-5 2-2	5-4 2-1	5-2 2-5	5-6 2-3																																													
6-6 6-3	4-6 4-3	2-6 2-3	6-5 3-2	6-3 3-6	6-1 3-4																																													
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ 街の地図を提示する。</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">●街の地図</td> </tr> </table>			・ 街の地図を提示する。	●街の地図																																														
・ 街の地図を提示する。	●街の地図																																																	

T : どのような街なのか考えてみよう。
 S : 駅の近くに大きなショッピングセンターがある。
 S : 大学がある。小学校、図書館や公民館がある。
 S : 高層マンションが多い。
 S : 高齢者の福祉施設がある。
 T : まとめるとどのような街といえるでしょうか。
 S : 区画整理がされているので、再開発された街だと思います。
 S : 高層マンションが多いので、新しくできた街だと思います。
 T : 街の様子資料を読んでみよう。

街の地図を基に、理由を説明できるようにする。

〈街の様子〉

40 年前に鉄道建設の話が持ち上がり、新駅建設予定の周辺は、一戸建て住宅地として開発されたが、その後、鉄道建設はなかなか進まず、通勤・通学者は、街から離れた隣の駅までバスを利用していた。そのため、この街は、比較的小さなベッドタウンになっていた。住民の高齢化とともに、街の近くには、福祉施設などの建設が少しずつではあるが進んでいった。

5 年前に住民にとって念願の鉄道が開通し、大江戸駅ができたことで、駅前と今まで大手不動産会社の管理地だったところに、新しい高層マンションが建設された。また都心にある大学がいくつかの学部を移転させて新しい校舎を建設し、若者たちがこの街に訪れるようになるとともに、単身賃貸マンションもつくられた。駅前の管理地には、24 時間営業の大型ショッピングセンターがつけられた。住民は、当初鉄道の開業で街が活性化したことや徒歩圏にショッピングセンターが完成したことで喜んでしたが、営業内容や利用方法について、それぞれの生活スタイルの違いから、意見の対立がみられるようになってきた。

- ・ 地図と資料から事実を確認する。
- ・ 街の登場人物とその生活スタイルを予想する。

- 登場人物を〈街の様子〉に基づいて設定する。
- ワークシート 1
- ジグソー班で一人の人物を考える。

(例) 生徒がつくった登場人物とその生活スタイル

- ・ 賃貸マンションに住む大学生
 大学で遅くまで研究をし、帰宅時間が遅い。時間に追われ、料理をつくることはない。休前日や休日は、友人と夜遅くまで遊ぶ。
- ・ 子育て中の共働き家庭の主婦
 フルタイムで働いているが、会社の終業時間である午後 5 時 45 分には退勤して午後 6 時 30 分に帰宅し、家族の食事をつくっている。小学校 5 年生と中学校 2 年生の子供がいて、2 人とも近くにある学習塾に通っている。
- ・ 一戸建てに住む高齢夫婦
 夫はすでに定年退職し、仕事についていない。妻は家庭で手料理を作っている。日中に散歩や買い物をすませ、午後 6 時には夕食をとり、午後 10 時には就寝している。

<ul style="list-style-type: none"> ・中学生 下校後、すぐに塾に行き、家に午後9時過ぎに帰る。帰宅後、夕食をとる。塾での学習が終わる頃には、空腹になる。翌日の授業に必要なものがあれば、塾からの帰りに購入する。 ・高齢者福祉施設の職員 24時間制で3交代で勤務している。入居者は、午後5時に夕食をとり、午後9時に就寝し、物音や光に敏感な方が多い。職員は、入居者のために、夜中や早朝でも急な買い物をしなければいけない場面もある。 ・ショッピングセンターの経営者 若者の利用や夜間から深夜にかけて来店者も多く、他店より収益が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料「ショッピングセンターの見取り図」 ◆街の登場人物と生活スタイルを街の地図やショッピングセンターの見取り図を基に考察することができる。(社会的な思考・判断・表現) [ワークシート]
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第二時	①前時の復習 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 学習課題：ショッピングセンターの利用について、それぞれの人はどう思っているのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一班につき一人の人物を割り当て、それぞれの立場についてジグソー班で話し合う。 ・各人物の主張について、ワークシート2に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> □生活スタイルから予想されるショッピングセンターの利用をジグソー班で考えさせる。 ●ワークシート2 ◆各人物の生活スタイルからショッピングセンターの利用について、考えることができる。(技能) [ワークシート2]
	<ul style="list-style-type: none"> ・予想される生徒の解答例 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸マンションに住む大学生 帰宅時間が遅く、単身であり、料理をつくることはない。深夜でも、お惣菜やお弁当、好きな本などの買い物をしたい。 ・子育て中の共働き家庭の主婦 近くに大きなショッピングセンターがあるのはありがたい。品揃えが豊富で、買い物も楽しい。子供が塾の帰りに寄っているらしく、帰りが遅いので、心配である。深夜に周辺地域から来たと考えられる若者が道を行き来するのは怖い。 ・一戸建てに住む高齢者夫婦 遠くまで買い物に行かなくてよいので、便利である。学生たちが夜騒いでいるので、寝付けない。 ・中学生 文房具や参考書を塾帰りに買えるので、便利である。塾が終わった後、お腹が空くのでお菓子を買いたい。 </div>	

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設の職員 ショッピングセンターに入る車のエンジンの音がうるさい。また、深夜に地上駐車場に車が入る時、施設にヘッドライトの明かりが差し込み、入居している高齢者に迷惑がかかる。入居者が急に必要になったものがすぐ手に入るのだから便利だ。 ・ショッピングセンターの経営者 高層マンションや大学ができ、ショッピングセンターに多くの人々が集まるので、売り上げが非常に良い。出店を希望する店舗が多い。深夜の利用客も多いので、24時間営業は続けたい。開店前には、住民の声を聞く機会を設けた。 	<p>②登場人物になりきってショッピングセンターの利用についての考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回のカウンターパート班で必要な配布用資料ワークシート3についてワークシート2を参考に完成する。 	<p>□ワークシート3を記入する時、カウンターパート班での話し合いが活発に行われるよう、自分たちの主張に対しては優先順位を決めて書き込ませる。</p> <p>●ワークシート3</p>
<p>(例) 子育て中の共働き家庭の主婦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面的な深夜の営業はやめてほしい。 (理由)「深夜に周辺地域から自動車やバイクで若者が集まってきて、不安を感じる。」「特に夜遅く塾から帰ってくる子供のことが心配だから。」 ・生活必需品については、これまで通り24時間営業を続けてほしい。 (理由)「子供が夜に熱を出すことがあり、救急用品を買うことができ助かるから」。 		

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第三時	①前時で決めた、各人物の主張の確認を行う。	
	<p>学習課題：異なった立場の人々の意見を聞こう。</p>	
	②カウンターパート班に分かれ、ロールプレイを行う。(各人物になりきって、その利用方法と理由を話す。)	<p>□班の中で司会を決め、話し合いがスムーズに展開するよう指導する。</p> <p>□各人物の主張をワークシート4に書き込ませる。</p> <p>●ワークシート4</p> <p>◆各人物の主張をまとめることができる。 (資料活用の技能) [ワークシート]</p>
<p>※生徒(司会者)の司会原稿</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まずショッピングセンターの利用の仕方について、利用の仕方とその理由を話してください。では次の立場の人、発表をお願いします。以下繰り返す。 2 それぞれの立場の人に対しての質問はありませんか。 		

<p>③ジグソー班に戻り、カウンターパート班でのロールプレイを振り返り、合意点、対立点、調整可能な点を整理する。</p>	<p>□個人が持ち帰ったワークシート4を持ち寄り、各人物の主張をまとめ、合意点、対立点を共有させる。</p> <p>●ワークシート5</p>
<p>(例) 賃貸マンションに住む大学生</p> <p>要望する利用方法 食品売り場は遅い時間まで開けてほしい (お惣菜や弁当を買いたい) 書店は遅い時間まで開けてほしい (雑誌や本などを買いたい)</p> <p>合意点 中学生、ショッピングセンターの経営者との間で営業時間に関する合意</p> <p>対立点 子育て中の共働きの主婦、一戸建てに住む熟年夫婦との間で営業時間に関する対立</p> <p>調整可能な点 高齢者福祉施設の職員との間で購入物品は合意できそう</p>	
<p>④ジグソー班で利用の仕方を再検討する。</p> <div data-bbox="256 685 863 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ジグソー班で、他の人物の主張と自分たちとの対立点、合意点について、ワークシート4、5を使って利用の仕方を再検討する。</p> </div> <p>・対立点を解消をめざした検討。</p> <p>・考慮した内容についての検討</p> <p>⑤新しい利用方法と他の立場に対しての考慮点をワークシート6に書き込む。</p>	<p>□話合いが合意に向けてより深化するよう、譲歩する方法について、話合いが進まない班に対しては、次のようなテーマを提示して支援する。</p> <p>① 時間的な制限 (店の業種によるもの)</p> <p>② 人の流れの制限 (入口)</p> <p>③ 場所的な位置での制限 (駐車場)</p> <p>◆対立点、合意点をまとめることができる。 (資料活用の技能) [ワークシート5]</p> <p>□班での話合いのときに、自分たちの立場を理解し、この問題を解決できるように検討し、他の班を説得できるような理由と案を提示させる。</p> <p>◆他の人物の主張も踏まえ、対立点を解消する方法を考えることができる。(社会的な思考・判断・表現) [ワークシート5]</p> <p>●ワークシート6</p>
<p>(例) 賃貸マンションに住む大学生</p> <p>○新しい利用方法 営業時間は従来どおり24時間営業とする。出入り口を制限する。営業する業種を制限する。ショッピングセンターの外では騒がない。</p> <p>○配慮した点 四方にある出入口のうち、午後9時以降は、北と東側のみとし、12時以降は、北側のみとする。大学からの帰り道を考えると南側が便利だが、一戸建ての高齢者夫婦に配慮した。また駐車場の出入口は午後9時以降、南側のみとし、一戸建ての高齢者夫婦、高齢者福祉施設の職員に配慮した。さらに、午後9時以降も営業する業種は、食料品と書店のみとすることで、子育て中の共働き家庭の主婦にも配慮した。</p>	

	○主な学習活動 ・ 学習内容	□指導上の留意点 ●資料等 ◆評価[方法]
第四時	<p>・ 前時でのジグソー班での新ルールと他の立場を考慮した点を持ち寄り、カウンターパート班での新ルール作成の作業を行う。もし合意まで導けなかったときは、なぜ合意することができなかったのか、調整できなかった点を発表するよう、伝える。</p> <p>②カウンターパート班でロールプレイを行う。</p> <p>③ロールプレイの経過をワークシート7に書き込む。</p> <p>④それぞれのカウンターパート班で合意することができたかどうかの発表を行う。またその理由について説明を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 合意することができなかったカウンターパート班について、対立点について合意に至らなかった理由を全体討議で検討させる。</p> </div> <p>⑤ショッピングセンターの利用方法に関するまとめの作成をする。 T：利用方法について、ルールを作った前と作った後の考えを書いてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 今回のロールプレイを終えてまとめをワークシート8に書く。</p> </div>	<p>□ジグソー班で作成したワークシート6を使って、最終合意するための話し合いを行わせる。</p> <p>□話し合いが進まない班に対して、合意できるようにそれぞれの立場、対立点に着目させて譲歩するよう支援を行う。</p> <p>●ワークシート6</p> <p>□合意することができない班については、その譲れなかった点についてワークシートにまとめさせる。</p> <p>●ワークシート7</p> <p>□合意することができた班には、合意に至った調整した点について発表させる。</p> <p>□この場合、必ずしも明確な答えは出なくてもよい。</p> <p>◆合意に至る過程、対立した理由をまとめ、ルールづくりに必要なことを考えることができる。[社会的な思考・判断・表現] (ワークシート)</p> <p>●ワークシート8</p> <p>◆ルールづくりを通して考察したことを文書でまとめる。[社会的な事象への関心・意欲・態度] (ワークシート)</p>

ショッピングセンターの見取り図

屋上	駐車場			
5階	映画館		フィットネスクラブ	
4階	家電売り場	文具売り場	ゲームセンター	レストラン街
3階	書店	衣料品・生活雑貨売り場		
2階	食品売り場			レストラン街
1階	駐車場			

3年 組 番 氏名 _____

1 街の登場人物とその生活スタイルを予想しよう。

街の登場人物 1 (_____)

この人物の一日の生活を、考えてみよう

街の登場人物 2 (_____)

この人物の一日の生活を、考えてみよう

街の登場人物 3 (_____)

この人物の一日の生活を、考えてみよう

3年 組 番 氏名 _____

2 自分たちの立場の考えをまとめよう。

自分たちの担当する登場人物の生活スタイルを想像しながら、24時間営業の大型ショッピングセンターの利用の仕方についての要望をまとめてみましょう。

班が担当する登場人物 (_____)

いつもどのようにショッピングセンターを使っているか、考えてみよう

これからのショッピングセンターの営業の仕方への要望

3年 組 番 氏名 _____

3 自分たちの主張を伝えよう。(提案書づくり)

他の立場の人に、自分の主張を分かりやすく伝えるための「提案書」を完成させましょう。

★ 担当する登場人物 (_____)

要望するショッピングセンター利用方法 (ポイントをまとめて箇条書き)

※優先順位を考えて提案書を作る

その主張する理由 (そうできないと困ることなど…)

※相手が納得してくれる理由を分かりやすくまとめる

配布用シート（カウンター・パート班で配布）

★ 担当する登場人物（ _____ ）

要望するショッピングセンター利用方法（ポイントをまとめて箇条書き）

その主張する理由（そうできないと困ることなど…）

3年 組 番 氏名 _____

4 異なった立場の主張を聞き取ろう。

すべての立場の人が揃った班で、それぞれの主張を発表してその意見を書き取ろう。

☆ ルール調整 班での話し合い（自分の班の意見はここに書かない）

賃貸マンションに住む大学生の立場	利用方法のルール ----- ルールを主張する理由
子育て中の共働き家庭の主婦の立場	利用方法のルール ----- ルールを主張する理由
中学生の立場	利用方法のルール ----- ルールを主張する理由

一戸建てに住む高齢者夫婦の立場	利用方法のルール <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ルールを主張する理由
高齢者福祉施設の職員の立場	利用方法のルール <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ルールを主張する理由
ショッピングセンター経営者の立場	利用方法のルール <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ルールを主張する理由

メモ

3年 組 番 氏名 _____

5 異なった立場の発表を分かりやすくまとめてみよう。

★自分たちの班との比較を試みよう

人物班	自分たちとの合意点	自分たちとの対立点	調整できそうなところ
班			
班			
班			
班			
班			

3年 組 番 氏名

6 それぞれの主張を聞いた上で、合意できそうなルールを再検討しよう。

他の立場の人の主張を聞いた上で、受け入れられやすい新ルールを考えよう。

他の立場を対立する点はどこか、書き出そう

※対立が大きい順に書き出す

対立を解消するアイデアはないか考えよう

※地図、見取り図、営業時間など考えられるアイデアを書き出す

新ルールを書いてみよう

対立する立場の人への配慮・譲ったところを書き出そう

3年 組 番 班 氏名

7 各立場で再検討したルールについて調整していこう。

それぞれの立場で再検討したルールを基に合意できるルールを作り上げよう。

☆ ルール調整 班での話し合い（自分の班の意見はここに書かない）

賃貸マンションに住む大学生の立場	利用方法の新ルール ----- 他の班の反論／賛成意見
子育て中の共働き家庭の主婦の立場	利用方法の新ルール ----- 他の班の反論／賛成意見
中学生の立場	利用方法の新ルール ----- 他の班の反論／賛成意見
一戸建てに住む高齢者夫婦の立場	利用の新ルール ----- 他の班の反論／賛成意見

高齢者福祉施設の職員 の立場	利用方法のルール
	他の班の反論
ショッピングセンター 経営者の立場	利用方法のルール
	他の班の反論

合意できた新ルール

合意できなかった理由

3年 組 番 氏名 _____

8 ショッピングセンターでのルールづくりを終えて

今回の授業を終えて、ルールづくりについて考えたことをまとめてみましょう。
ルールづくりの難しさ、ルールをつくる上で注意するところ、ここだけは守らなければいけないところなど、思い付いたことを書いてください。

発展的な学習を推進するための教材・指導法の開発委員会(中学校)委員名簿

氏名	所属及び職名	備考
児島 邦宏	東京学芸大学名誉教授	
秋山 純子	杉並区立西宮中学校長	中学校国語科部会
大林 博	渋谷区立本町中学校主幹教諭	中学校国語科部会
小石沢 さやか	北区立赤羽岩淵中学校教諭	中学校国語科部会
大野 文	北区立浮間中学校教諭	中学校国語科部会
岩谷 俊行	杉並区立向陽中学校長	中学校社会科部会
三枝 利多	目黒区立目黒中央中学校主任教諭	中学校社会科部会
誦田 剛也	江戸川区立小松川第二中学校教諭	中学校社会科部会
島田 一郎	町田市区立町田第三中学校主幹教諭	中学校社会科部会
市川 敦子	武蔵村山市立第一中学校主任教諭	中学校社会科部会
小林 博	調布市立第三中学校長	中学校数学科部会
三森 彩未	目黒区立第三中学校教諭	中学校数学科部会
徳田 哲男	足立区立西新井中学校主幹教諭	中学校数学科部会
小高 洋平	足立区立栗島中学校教諭	中学校数学科部会
亀山 大輔	調布市立第三中学校教諭	中学校数学科部会
高島 勇二	練馬区立開進第一中学校長	中学校理科部会
佐藤 豊	北区立桐ヶ丘中学校主幹教諭	中学校理科部会
荒井 英樹	立川市立立川第二中学校主幹教諭	中学校理科部会
上村 雅彦	町田市立金井中学校教諭	中学校理科部会
白川 恒	あきる野市立秋多中学校教諭	中学校理科部会
松岡 敬明	渋谷区立鉢山中学校長	中学校外国語科部会
原田 博子	江東区立深川第一中学校主任教諭	中学校外国語科部会
江濱 悦子	大田区立貝塚中学校教諭	中学校外国語科部会
宮本 猛司	世田谷区立深沢中学校主任教諭	中学校外国語科部会
太田 恵理子	江戸川区立西葛西中学校主任教諭	中学校外国語科部会

なお、本委員会については、教育庁において次の者が担当した。

氏名	所属及び職名
伊東 哲	指導部義務教育特別支援教育指導課長
宇田 剛	指導部主任指導主事(学力調査担当)
小瀬 和彦	指導部義務教育特別支援教育指導課統括指導主事
毛利 元一	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
山村 智治	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
藤田 修史	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
斎藤 圭祐	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
福泉 宏介	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事
阿部 大介	指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事

発展的な学習を推進するための指導資料
(中学校編)
社 会

東京都教育委員会印刷物登録
平成23年度 第195号

平成24年3月

編集・発行 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 (03) 5320-6841
印刷会社名 広望企画株式会社

